

総合開発特別委員会

平成22年11月2日

報告事項

1 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

- ・「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過 . . . 資料1
- ・米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について . . . 資料2
- ・平成22年10月18日開催の米軍再編に係る千歳基地への
訓練移転に関する連絡協議会での要請事項 . . . 資料3
- ・米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する
訓練計画概要について . . . 資料4
- ・平成22年11月1日開催の米軍再編に係る千歳基地への
訓練移転に関する連絡協議会での要請及び質問事項 . . . 資料5
- ・在日米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について . . . 資料6
- ・北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の体制について . . . 資料7
- ・米軍再編に係る各基地への訓練移転経過について . . . 資料8
- ・米軍再編に係る岩国飛行場から小松基地への訓練移転
（共同訓練）の聴き取り調査結果について . . . 資料9
- ・米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転
（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知について . . . 資料10
- ・厚木基地所属米軍F A - 18戦闘機からの航空機部品落下等の
事故に関する事故原因及び再発防止策について . . . 資料11

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※総合開発特別委員会(平成22年9月15日)以降の経過

平成22年10月8日	岩国飛行場から三沢基地への訓練移転に関する訓練計画概要が地元へ通知
平成22年10月18日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催(北海道防衛局) 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転(共同訓練)について」(概略通知) 道の連絡会議において要請及び北海道・千歳市・苫小牧市個別要請 「第14回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
平成22年10月22日	町内会連合会・苫小牧商工会議所へ訓練移転の市長説明
平成22年11月1日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催(北海道防衛局) 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転(共同訓練)について」(詳細通知) 道の連絡会議において要請及び北海道・千歳市・苫小牧市個別要請及び質問 苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催し、千歳基地への訓練移転計画概要を説明 「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」部員へ訓練計画概要を周知

平成22年10月18日

北海道防衛局

米軍再編に係る千歳基地における訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転として、現在、千歳基地において11月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

平成22年10月18日開催の
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会での要請事項

◆北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守していただきたい。
(回答) 協定書等の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議や確認経過を踏まえて実施したい。
- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によることを確認していただきたい。
(回答) 米軍機は、航空自衛隊と同様の方法で行う。
- 3 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応をお願いしていただきたい。
(回答) 米軍人の規律の維持については、防衛省として平素から米軍に対して隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルからの申し入れを行っている。これまで同様、当局からも米軍に申し入れを行う。
- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表していただきたい。
(回答) これまで同様実施し、結果も速やかに公表したい。
- 5 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期していただきたい。
(回答) 訓練に参加する戦闘機は、平素より定期整備、飛行前飛行後点検等を適正に実施し、安全に万全を期していると承知している。

6 説明会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

(回答) 可能な限り対応したい。

◆苦小牧市の個別要請

1 これまでの協議経過を踏まえまして、協定書及び協議・確認書の遵守をしていただきたい。

(回答) 協定書等の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議や確認経過を踏まえて実施したい。

2 現地説明会及び米軍ブリーフィングを開催していただきたい。

(回答) 現地説明会は、本日の要望とこれまでの実績を踏まえて実施したい。ブリーフィングは、昨年4月も実施している。今回の要望も米軍側に伝えたい。

3 米軍人の外出時等の対応及び訓練に関する情報提供を速やかに伝えていただきたい。

(回答) 北海道防衛局の対応は、必要に応じてトラブルのないよう努めたい。

4 戦闘機の事故が頻発しているため、更なる事故防止に努めていただくとともに、事故原因及び今後の対策について速やかに情報提供いただきたい。

(回答) 可能な限り対応したい。

5 訓練終了後の「検証」は必ず行っていただきたい。

(回答) これまでの実績を踏まえて適切に対応したい。

平成22年11月1日
北海道防衛局

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）
に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

- 期 間：平成22年11月8日（月）～19日（金）
（但し、土曜日及び日曜日は訓練を行わない。）
- 参加部隊：〔米軍〕
第18航空団（嘉手納）
〔航空自衛隊〕
第2航空団（千歳）、第3航空団（三沢）、北部航空警戒管制団
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプII訓練
〔米軍〕
F-15×12機程度、人員約190名（嘉手納）
※人員、器材等輸送のため輸送機が飛来予定
〔航空自衛隊〕
F-15×8機程度、F-2×6機程度

以上

平成22年11月1日開催の
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会での要請及び質問事項

◆北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

10月18日の通知の際にも、千歳市・苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など6項目について要請をしてきたところであり、貴局からも「これまでの協議や確認経過を踏まえて実施したい」との回答をいただいております。

重ねてのお願いとなりますが、先の要請事項について、再度お願いをするとともに、住民の不安や懸念を解消するためには、訓練に関する様々な情報が可能な限り提供される必要があると考えておりますので、現地説明会の実施などについて、よろしくお願いたします。

特に、今回は千歳基地では初めてとなる、大規模なタイプⅡ訓練ということもあり、特に万全の対応をお願いいたします。

◆苫小牧市の個別要請

10月18日開催の本連絡協議会の際におきまして、北海道・千歳市・苫小牧市で構成する連絡会議として、また苫小牧市といたしましても協定等の遵守のほか、訓練の安全管理及び米軍人の規律の維持について要請したところではありますが、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いいたします。

◆苦小牧市の質問事項

- 1 10月18日開催の本連絡協議会において、現地説明会及び米軍によるブリーフィングの開催について質問させていただき、「説明会については、今回の要望とこれまでの実績を踏まえて検討したい。」また、米軍によるブリーフィングについては、「今回の要望も米軍側に伝えたい。」との回答をいただいておりますが、どのような対応をとられるのか。

開催されるとしたならば、前回と同様に住民代表も参加可能と解してよろしいでしょうか。

(回答) 現地説明会は、初日に行う予定。

ブリーフィングもその後実施することは可能である。

前回と同様に住民代表も参加可能である。

- 2 今回、米軍の参加人員が約190名とのことですが、参加人員全てが基地内での宿泊と理解して良いか。

基地外の宿泊があれば宿泊先・人数、また、宿泊者に対する北海道防衛局の対応をお知らせいただきたい。

(回答) 宿泊については、一部基地外に宿泊する予定。

基地外の宿泊先は公表できない。

人数は十数名程度。

宿泊者に対する対応は万全を期して行いたい。

- 3 今回はタイプⅡの訓練ということで、土日を含む日程となり、米兵の外出・外泊が予想されますが、外出・外泊の対応についてお知らせいただきたい。

(回答) 外出・外泊は予想されますが、対応については、北海道防衛局として、案内・通訳などのサポートを行う予定である。

- 4 今回の訓練に、三沢基地の航空自衛隊も参加するとのことですが、このような訓練形態は訓練の拡大に当たらないのか。

当たらないのであれば、どこまでがロードマップで言っている範囲なのかの解釈も含めて説明いただきたい。

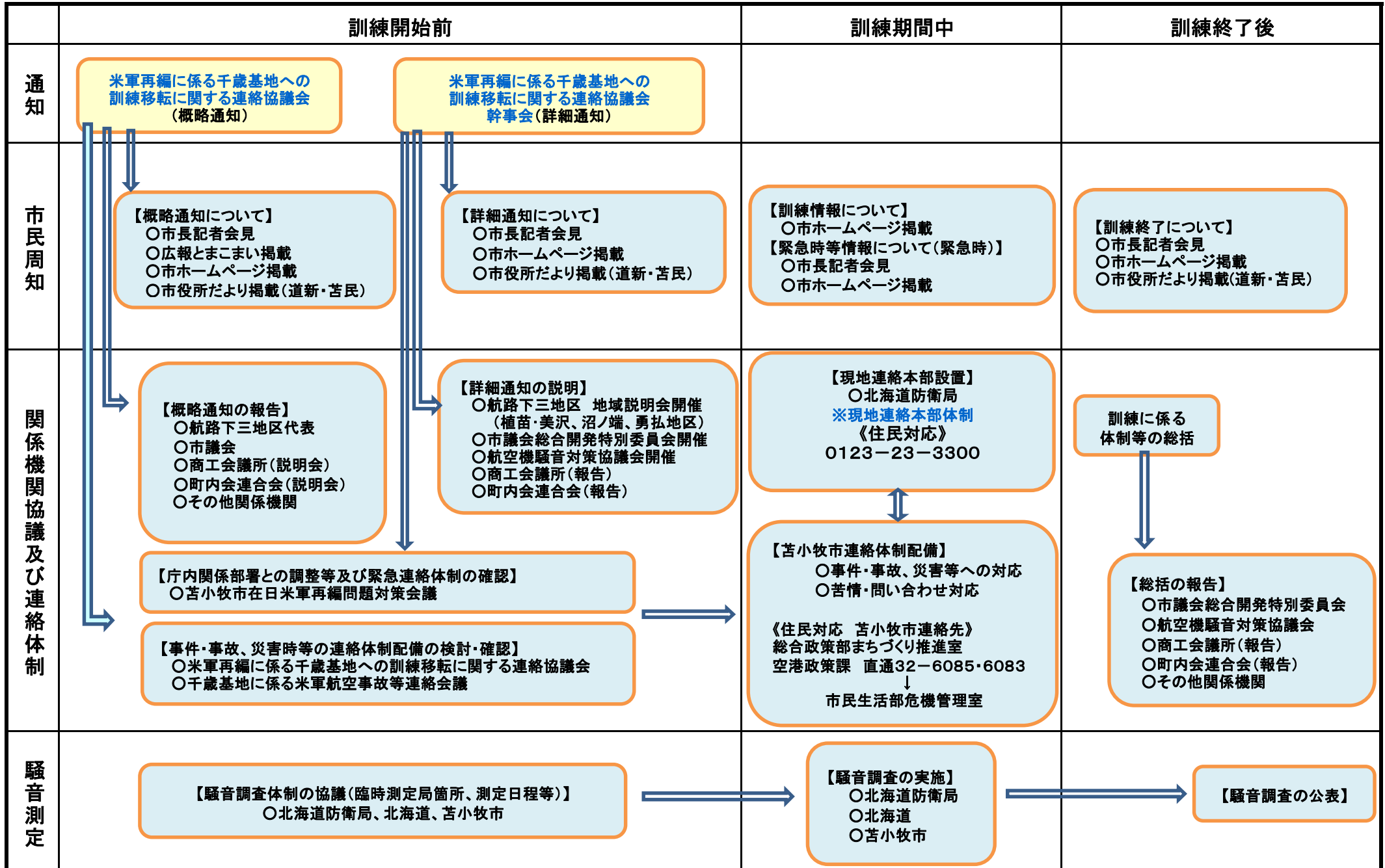
(回答) 訓練の拡大には当たらない。

沖縄の負担軽減のためにあるロードマップから、逸脱しているとは思わない。

- 5 今回の訓練について、今までの訓練の対応と何か違いはあるか。

(回答) 今までの体制と変わりありません。万全の体制で臨みたい。

在日米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について



北海道防衛局訓練移転現地連絡本部

住民対応
【苫小牧市連絡先】
総合政策部 空港政策課
(直通) 32-6083
6085

現地連絡本部長
(北海道防衛局次長)

現地連絡本部長代理
(企画部次長)

現地連絡副本部長
(地方調整課長)
(千歳防衛事務所長)

総括班

企画・統制・連絡調整

騒音対策班

騒音測定

業務班

米軍の物品・役務調達
事件・事故等対応

広報班

広報・報道等対応

住民対応
0123-23-3300

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練 タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
18	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度				H19.1.11に通知、3月を目途とし回数 の明記はないが1回と思われる		
	築 城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の連絡会議 (道・苫小牧・千歳)		
	計	築 城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣		
19	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度				H19.1.31に通知		
	小 松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行わ れていない。	
	築 城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無		
	三 沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行わ れていない	
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣		
	百 里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣		
	小 松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15事故調査のため中止	
	百 里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無		
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無		
	千 歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練	
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣			
20	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 併せて10回程度				H20.6.20に通知		
	三 沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行わ れていない。	
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無		
	小 松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無		
	千 歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣		
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無		
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣			
21	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1,2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度				H21.1.28に通知		
	千 歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣		
	三 沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行わ れていない。	
	百 里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は 全て中止。テスト飛行1回のみ。	
	小 松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	岩国 三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行われて いない。	
	百 里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われて いない。	
	三 沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28,3/6・7の土日の訓練は行 われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	築 城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われてい ない。	
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:2回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:0回 計:7回		I:3回 Ⅱ:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣			
22	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) タイプⅠ・Ⅱあわせて15回程度				H22.1.29に通知		
	小 松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA-18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われて いない。	
	三 沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA-18×10機 約160人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	千 歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加	
	計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:0回 計:3回		I:0回 Ⅱ:3回	三沢:0回 岩国:2回 嘉手納:1回			

小松基地訓練移転調査結果について

1 訓練概要

- (1) 訓練期間 平成22年6月5日(土)～18日(金) ※土曜日及び日曜日に行わない
- (2) 訓練形態 タイプⅡ
- (3) 参加部隊 [米軍]海兵第12飛行大隊(岩国)
[自衛隊]第6航空団、中部航空警戒管制団
- (4) 演練項目 戦闘機戦闘訓練等
- (5) 訓練空域 小松沖空域
- (6) 参加規模 [米軍]FA-18×10機程度 人員約180名(岩国)
[自衛隊]F-15×8機程度

2 調査結果

区分	近畿中部防衛局	小松市	加賀市												
協日定米に共同訓練に係る	<ul style="list-style-type: none"> ・S50.10.4締結の航空自衛隊小松基地の運用に関する協定「協定書」(10.4協定)を遵守 ・S57.9.24締結「日米共同訓練に関する協定書」の枠(訓練期間は年約4回、年間合計約4週間)の中で実施 <p>※訓練移転開始以前から変更なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10.4協定及びS57年の日米共同訓練に関する協定の中で実施 <p>※訓練移転開始以前から変更なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小松市が締結している10.4協定及びS57年の日米共同訓練に関する協定の中で実施 <p>※訓練移転開始以前から変更なし</p>												
住民周知について	<ul style="list-style-type: none"> ・5月25日、概略通知 ・5月28日、訓練計画概要の地元通知 <p>※概略通知 H21:12日前→H22:11日前</p> <p>※詳細通知 H21:8日前→H22:8日前</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議会、周辺整備協議会へ通知、ホームページに掲載 <p>※21年度訓練時と同様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月28日、3地区の議員及び基地対策特別委員会へ連絡 ・6月2日、3地区会館及び基地周辺整備協議会へFAXで通知 <p>※21年度訓練時と同様</p>												
米兵の行動把握	<ul style="list-style-type: none"> ・現地対策本部から、米側に対し、安全及びサービスの管理、規律に万全を期すよう申し入れ ・市街地の巡回、警察・小松市・小松基地と緊密な連絡 ・外出あり ・苦情、トラブル等はなし <p>※21年度訓練時と同様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市としては、特別な体制は取らずに近畿中部防衛局連絡本部から飛行場課長の携帯電話に連絡が入る体制を取った ・苦情、トラブル等はなし <p>※21年度訓練時と同様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な体制は取らなかった ・連絡本部から企画課へ連絡が入る体制を取った ・苦情、トラブル等はなし <p>※21年度訓練時と同様</p>												
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> ・市と局が共同で騒音測定(公開)を実施 ・小松市域においては、2箇所毎日実施 ・加賀市及び能美市域においては、それぞれ1箇所2日間実施 <p>・騒音結果(最大値(dB))</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">離陸時</td> <td style="text-align: center;">着陸時</td> </tr> <tr> <td>米軍機</td> <td>FA18</td> <td style="text-align: center;">108.0</td> <td style="text-align: center;">93.0</td> </tr> <tr> <td>自衛隊機</td> <td>F15</td> <td style="text-align: center;">105.0</td> <td style="text-align: center;">84.5</td> </tr> </table> <p>・騒音苦情件数 0件</p>			離陸時	着陸時	米軍機	FA18	108.0	93.0	自衛隊機	F15	105.0	84.5	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿中部防衛局と小松市との共同測定(周辺整備協議会の立会い)で2箇所の騒音調査 ・結果は、ホームページで公表予定 <p>・騒音苦情件数 0件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の騒音測定はなし ・6/8及び6/10に騒音測定実施 ・防衛局測定時に、現地で立会いのもと騒音測定を行ったため、防衛局からの測定結果通知はない ・訓練期間中の離発着情報、機数等は、その都度、周辺整備協議会、3区長会へ通知 <p>・騒音苦情件数 0件</p>
		離陸時	着陸時												
米軍機	FA18	108.0	93.0												
自衛隊機	F15	105.0	84.5												

※ 周辺整備協議会

- 小松市 : 小松市飛行場周辺地域の町内会(105箇所)の会長を会員として組織され、飛行場周辺地域の環境整備に関する陳情・要望及び調査研究等の事業を行っている。
- 加賀市 : 平成20年度、騒音影響を受ける3区長会で設立。活動内容は、小松市と同様。

(お知らせ)

平成22年10月8日
防 衛 省

米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転（共同訓練）
に関する訓練計画概要の地元通知について

米軍再編に係る岩国飛行場から三沢基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、本日、東北防衛局が三沢基地関係地方公共団体（三沢市、東北町、青森県）に対し通知しましたので、お知らせします。

- 期 間：平成22年10月15日（金）～23日（土）
（但し、土曜日及び日曜日は訓練を行わない。）
- 参加部隊：〔米軍〕
米海兵第12飛行大隊（岩国）
〔航空自衛隊〕
第3航空団（三沢）、第2航空団（千歳）、北部航空警戒管制団
- 使用基地：三沢基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：三沢東方空域、秋田西方空域
- 参加規模：タイプII訓練
〔米軍〕
F A-18×10機程度、人員約160名（岩国）
※人員、器材等輸送のため輸送機が飛来予定
〔航空自衛隊〕
F-2×6機程度、F-15×4機程度

以 上

22.10.14.
南関東防衛局

お知らせ

10月14日に開催された合同委員会において、平成22年1月28日及び3月4日に発生した米軍機からの航空機部品落下等の事故について、米側より、以下のとおり、事故原因及び再発防止策に関する情報提供がなされました。

- 航空機又は装備における欠陥又は物理的／システム上の問題はなかった。いずれの事故についても人為的な過失が原因であった。
- 1月28日に発生した事故については、整備員が、厚木海軍飛行場の第27戦闘攻撃飛行隊（VFA27）所属航空機に取り付ける補助電源装置（APU）用ポンプハンドルを適切に固定ピンで固定しなかったため、同機が厚木に帰投する際にポンプハンドルを落下させた。
- 3月4日に発生した事故については、整備員が、厚木海軍飛行場の第195戦闘攻撃飛行隊（VFA195）所属航空機に取り付ける作動式カートリッジ・デバイスを規定量のトルク（回転）を加えて固定ナットに固定しなかったため、ナットがゆるみ同機から当該デバイスを落下させた。
- 再発を防止するため、一日かけて、関係するスタッフ全員を対象として、安全についてのブリーフィングを行い、また、落下した部品及び関連するシステムについての適切な取り扱い手順の再確認を行った。さらに、パイロット及び整備員による追加の点検及び確認を含め、F/A-18の適切な取り扱い手順が改善された。

以上